



国際医療福祉大学病院

循環器センター設立記念

循環器セミナー

循環器疾患に幅広く対応／県北悲願の診療体制実現

県北在住の方が急性の循環器疾患を発症した場合「十分な治療を受けられない」と、県史の大学病院などに搬送されています。残念ながら多くの患者は鬼怒川を渡る前に亡くなってしまっている現状にあります。栃木県は、私見ですが「県北、県央、県南での医療格差が大きい」と思います。また栃木県民の所得は、全国上位にありながら一人当たりの医療費は、全国平均を下回っています。このことは、働けるまで働き、突然に心血管病を患い、

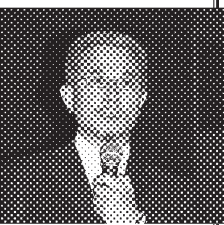
地域医療 質向上に寄与を

国際医療福祉大学病院にはぜひ、患者が満足できるような医療を行っていただきたいです。同センターの開設が、県北地域の医療レベルの向上につながることを期待しています。

講演①
那須都市医師会会長
江部 寛氏
栃木県北地域の循環器医療の現状と当院に期待すること



講演②
自治医科大学
心臓血管外科部門 教授
川人 宏次氏
栃木県の心臓外科医療の現状について



病院へのアクセスが肝心

ありません。循環器センターの開設で多くの患者を救命することが可能です。外科医にとっては厳しい症例が増えることとなりますが、以前は病院にたどり着けなかったような患者の命を救えるようになります。県内の各病院で切磋琢磨し、技術や考え方を議論しながら、よりよい治療に結びつけていくことも求められています。私どもも医療連携・人的交流を進め、栃木県の循環器治療の質向上に努めていきたいと思ひます。

講演③
国際医療福祉大学病院教授
循環器センター長
柴 信行氏
循環器センター設立にあたって

最新機器と優しさで対応

「循環器センター」は今年9月に完成。それまでは「循環器内科」「心臓血管外科」の2科のみでしたが、今回のセンター開設に合わせ、3人の心臓外科医を招き、開心術も可能な体制を整えた上、「心臓外科」と「血管外科」を設けました。私どもは、病院を挙げて心血管疾患の治療を地域で完結できるよう治療を行っています。心血管疾患は高齢の方に多く起る病気です。県内も高齢化が進むとともに心血管疾患が増えています。センターでは最新機器と優しさで対応



特別講演

長寿のための心血管病の知識

日本は既に超高齢社会に入っています。そうした中で心血管病対策の重要性、および先進の医療についてお話しします。世界最長寿命国を誇る日本ですが、健康寿命は平均寿命より6年ほど短く、そのギャップは欧米諸国より大きいとされています。高齢社会は今後も続きます。これからはいかに健康寿命を長く保つかが大切です。

東北大学循環器内科教授

しもかわひろあき
下川 宏明氏

最新技術で患者負担軽減



位を合わせた順位であり、一つの臓器で人間を死に至らしめるという点では心疾患が1位です。その中でも約半分が、狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患です。心臓の表面の3本の冠動脈が硬化すると狭心症や心筋梗塞になります。加齢による動脈硬化は止めることはできませんが、血管が異常なほど詰まったり破裂し

たしするようになると、危険因子を抑えることで防げます。高血圧、高脂血症、肥満、喫煙などの因子が二つ、三つと重なれば、そのリスクは4倍、6倍と膨らんでしまふと認識していただきたい。心臓病は高脂血症による影響が大きく、悪玉コレステロールが増え、善玉が減ると心筋梗塞のリスクも高まりま

きたと思ひます。脳 やはり、地域完結型の診療体制が大切ということ。最後に下川先生からお願いします。

脳 栃木県も高齢化とともに、循環器疾患が増えています。特に心臓疾患は時間との勝負。これまで県央の病院に搬送されていたわけですが、これからは循環器センターで迅速な対応ができますので安心してください。症状があれば早めに受診しましょう。

シンポジウムに耳を傾ける来場者

国際医療福祉大学病院（那須塩原市井口）の「循環器セミナー」が10月28日、同病院B棟・講堂で開催された。県北で初めて総合的な循環器疾患の診療を可能にした「循環器センター」の設立を記念し、東北大学循環器内科の下川宏明教授らを招き講演を行った。シンポジウムでは栃木県における循環器疾患の現状と今後の課題などについて議論。会場には370人の市民が参加、同センター設立の意義などについて認識を深めた。（企画・制作 下野新聞社営業局）

主催者あいさつ

そはらのすのり
蘇原 泰則氏



10年、国際医療福祉病院として病床数1000床でスタートしました。2007年には国際医療福祉大学の附属病院となり、現在は3



シンポジウム 「栃木県北地域の循環器医療について」

蘇原 栃木の県北地域における循環器疾患の完結型医療の在り方などについて、それぞれの立場でお話しください。

四 アクセスのよい病院で24時間受け付けてもらえることが重要。「遠くの病院より、近くの病院」です。そこが、救命率アップなど患者さんのための治療の質を上げるポイントだと思います。